

2月から5年生前期の授業が始まります。5灘選抜 web では、「テーマ別読解演習」と「入試問題研究」の2本立てで行います。

「テーマ別読解演習」では、入試問題でよく出題されるテーマを連続して学習します。説明文では、「動植物」「自然・環境」「科学文明」、物語文では「家族」「友情」で、これらのテーマに関してよく出題される設問を多く学習することができます。

「入試問題研究」では、実際の入試問題を、入試本番と同じ時間設定で解き、そのあと解説の動画を見て確認するという流れになります。入試問題全体を見渡し、難しそうな問題を後回しにしたり、時間配分に注意したりなどして実戦的な学習を行います。

文章を読むときの注意点

文章を読むときは、ただ漫然と文章を読むのではなく、説明文であれば、話題や筆者の主張や具体例、また物語文であれば、場面や登場人物の心情などに注意して読むことが大切です。どのような点に気をつけて文章を読めば良いのかを動画で確認してください。動画の中で難しい言葉の意味を説明したり、文章の内容を説明したりしています。その説明を見て、読解の仕方を身につけていくようにしましょう。

毎回のテキストの構成

「テーマ別読解演習」… 文章題が3題あり、そのうち2題を動画で解説しています。1題あたり20分から25分くらいで解いてください。動画では文章内容の説明をしたあと、1問ごとに設問の解説をしていきます。答えにいたるまでの解きすじをしっかりと聞いて定着させてください。残り1題は宿題用で動画はありませんが、解答に解説がついていますので、答え合わせのあと、確認しておきましょう。

答えはすべてノートに書きこみましょう。間違えた問題は赤できちんと直すことが大切です。そのとき、最初にした答えを消さないよう、自分の書いた答えの横に新たな答えを書くなど、自分がどのような間違いをしたのか、どのように直してマルとなったのかがはっきりとわかるようにしてください。

「入試問題研究」… 時間を計って入試問題をそのまま解きます。答えはすべて解答用紙に書きこんでください。動画をみながら、必要に応じてメモをとるために、「テーマ別読解演習」で使っているノートを用意しましょう。「入試問題研究」にも宿題用の教材がありますので、やっておきましょう。

動画視聴時のお願い

まず「導入」を見てください。この動画では、何分で解いたらいいか、どんなことに気をつけてほしいかの導入をしています。その後問題を解いていただいて、再び動画を見てください。まず、文章を判読しながら文章の内容を説明します。次に設問1問ずつの解説という流れになっています。

◆第1回 テーマ別読解演習「動植物」①／説明文

説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問二 話題をおさえる問題です。この生き物についての生態の特徴を読み取ります。
問五 比喩表現の具体化の問題です。傍線部だけでなく、その前後をよく読んで考えましょう。
問七 共存関係についてしっかりおさえましょう。
- Q 問二 接続語の問題です。空らんの前後のつながりを確かめましょう。
問五 具体化の問題です。「厄介な」の部分をうまく説明しましょう。
問八 筆者の主張に関する記述問題です。比喩的表現になっていて難しいかもしれませんが、がんばって解いてみましょう。
- 宿題 問七 文章構成の問題です。それぞれの段落の内容をおさえて考えましょう。
問九 筆者の主張を空欄補充で埋める形式の問題です。キーワードとして何度も使われた言葉に注意しましょう。

◆第2回 テーマ別読解演習「動植物」②／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問六 二つの空らんが近くにある場合は、対比する内容をあてはめることが多くあります。
問八 文章構成の問題は、各段落の内容をおさえて考えるようにしてください。
問九 筆者の主張をしっかりと覚えてください。
- Q 問二 傍線部の次の段落が具体例、そして次の段落がまとめになっています。文脈を意識してください。
問四 内容を具体化する問題です。じっくり取り組んでください。
問五 筆者の主張に関する問題です。
- 宿題 問二 具体化をしてから抽象化する問題です。
問五 「慎重」の意味をおさえてから書いてみましょう。

◆第3回 テーマ別読解演習「動植物」③／説明文

前回に続き、説明文の学習では、話題、筆者の主張、具体例、段落構成を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問二 指示語の問題は、まず傍線部の後ろを読み、それを手がかりに傍線部の前を読んで考えましょう。
問四 内容の具体化の問題です。答える時、「矛盾」の内容になっているかを確かめましょう。
問七 正誤問題は、本文の内容を照らし合わせるようにしましょう。
- Q 問六 違いを説明するときは、「Aは～だが、Bは～」という形式で書いてみましょう。「～」の

部分には、「A」・「B」それぞれの特徴を書きましょう。

問七 内容を具体化する問題です。じっくり取り組んでください。

問八 問われていることを明確にしてから記述に取り組みましょう。

宿題 問七 正誤問題は、本文の内容を照らし合わせるようにしましょう。

問八 文章構成の問題は、各段落の内容をおさえて考えるようにしてください。

◆第4回 テーマ別読解演習「家族」①／物語文

物語文の学習では、場面や登場人物の心情の変化に着目し、主題をおさえましょう。「家族」のテーマでは、家族の心のつながりが問われます。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問三 象徴の問題です。ここで「カップ焼きそば」がどんなことを表しているか考えましょう。

問五 問三と関連のある問題になっています。

問七 文章の出来事（あらすじ）をしっかりとおさえてから書くようにしましょう。

㊦ 問二 傍線部の「しかめっ面」や「きょとんと」など、心情を表す言葉の意味を確かめて選ぶようにしましょう。

問七 主題に関する問題です。「領いた」が「受け入れた」という意味を含んでいます。

問八 象徴の問題です。「卵」・「緒」がそれぞれどんなことを言おうとしているのかおさえてください。

宿題 問五 傍線部の「目をそらさない」という表現がどんなことを表そうとしているのかをおさえましょう。

問六 登場人物の性格をおさえる問題です。性格は、会話・口調・表情・様子・行動・動作などから類推するようにしてみましょう。

2月から5年生前期の授業が始まります。5灘特進 web においては春休み、夏休みも合わせて三十数回にわたって中学受験に必要な単元をほぼすべて扱います。(後期の9月度の分まで一通りすべての単元を網羅します。)

まず、前期(2~7月)と春休みにおいては、色々な考え方に応用できる比と割合から始まり、数の性質、平面図形、立体図形と扱ってまいります。灘中をはじめとする最上位校を志望する上で必要な内容を網羅していくことを考えていますので、例題といってもかなりレベルの高いものも含まれています。

【例題】はすべて動画で扱っていますので、まずはこの【例題】をしっかりと理解した上で、ほぼその類題と言える【練習問題】に取り組んでみてください。【練成問題】というのは【例題】から多少派生した問題を中心に収録しており、その中で【例題】と少し離れるタイプの問題のうち、特に重要なものを動画で扱っています。

◆第1回 比(1) 比の意味と基本

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 比の意味。「B に対する A」の B が後ろに来る(後項になる)ということは押さえておいてください。

【例題 2】 約比。整数のみならず、分数や小数、単位付きのものも処理できるようになってください。

【例題 3】 比例式。基本的には「前項が○倍になったので、後項も同じ○倍になる」という考え方が重要ですが、内項の積=外項の積 についても理解してください。

【例題 4】 連比・比合わせ。連比の取り方を理解してください。

【例題 5】 逆比。「比の左右を逆にする」という意味ではなく、あくまで「逆数の比」という意味であり、2つの比に限っては本当に左右逆になる、ということです。(2)のような文から逆比を考えることにも慣れてください。

【例題 6】 比例配分。比較的わかりやすいと思います。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくかった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解してください。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っています。

◆第2回 割合(1) 割合の意味と基本、増減、相当算

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 割合の表し方。分数、小数、歩合、百分率といった表現方法を理解します。ここにはありませんが、場合によっては整数になることもあります。割合というのは元々「何倍か」という意味です。

【例題 2】 比べる量を求める。「2 の 3 倍が 6」という表現において、6 が比べる量となります。これを求めるもので、かけ算で求めることになります。

【例題 3】 もとにする量を求める。「2 の 3 倍が 6」という表現において、2 がもとにする量となります。なので、わり算で求めることになります。

【例題 4】 割合を求める。「2 の 3 倍が 6」という表現において、3 が割合となります。なので、わり算で求めることになります。

【例題 5】 割増し・割引き。増減する前の量がもとにする量(1 倍)になります。

【例題 6】 相当算①。線分図の上に表現していくことも理解してください。増減に関する内容になります。

【例題 7】 相当算②。例題 6 に引き続き、線分図の上に表現していきます。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくかった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解してください。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っています。

◆第3回 割合(2) 割合の乗除、線分図、文章を式にする

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 割合×割合。割合に割合をかけることに慣れてください。

【例題 2】 N 段線分図①。「残りの」という表現を見たら、線分図を下に分けます。

【例題 3】 N 段線分図②。「残りの」という表現がある中で、【例題 2】よりももう少し複雑なタイプです。

【例題 4】 N 段線分図③。【例題 2】、【例題 3】よりもさらに発展的なものです。

【例題 5】 共通部分が基準。重なっている部分を 1 倍などと考えていくタイプです。

【例題 6】 文章を式に表す。文章を数の式に表すことも重要になります。基本的に逆比に関係しています。

【例題 7】 文章から、いくつかの量の割合関係を考えていきます。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくかった場合は、再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解してください。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っています。

◆第4回 割合(4) 売買算、原価・定価・売価・利益の関係、消去算など

① 【例題】と【練習問題】

【例題】はすべて動画が用意されています。

【例題 1】 原価→定価、定価→売価。原価と定価の関係、定価と売価の関係を考える問題です。

売買算の基本になりますので、しっかり理解してください。

【例題 2】 定価→原価、売価→定価。【例題 1】の逆のパターンです。

【例題 3】 利益率、割引率。さらに、原価と定価、定価と売価の関係を考えるものですが、利益率は原価が 1 倍、値引き率は定価が 1 倍として考えます。

【例題 4】 原価→定価→売価。【例題 1】、【例題 2】、【例題 3】の流れがつながっているものです。さらに利益も関係してきます。原則として、原価を 1 倍として考えていきます。

【例題 5】 2 種類の割引き。線分図の上に整理するとわかりやすくなります。直接求まるものが定価になることに注意しましょう。

【例題 6】 原価・定価・売価・利益の関係。【例題 1】から【例題 4】の応用になります。

【例題 7】 割合の消去算。非常に重要なタイプになります。売買算とは直接関係ありませんが、しっかりマスターしてください。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくかった場合は、再度【例題】の動画を見てみましょう。

② 【練成問題】

【練成問題】はいくつか選択的に動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解してください。

③ 宿題などについて

【練成問題】の後 A, B, C, D 問題がありますが、宿題としては A, B 問題としています。ただ余力があれば、そのあとの C, D 問題に、一部でも結構ですので取り組んでみてください。C, D 問題の中には入試問題レベルのものも入っています。